

# 屋久島の 魅力に迫る！

番外編



## — ぐるっと一周 屋久島めぐり —

島めぐりはまだ半周！西部林道を抜け海岸にそって道は続きます。ひたすら走る、走る！この先、巨木めぐりマニアの私には外せない「中間ガジュマル」があります。島ではあた



りまえのようにガジュマルが街路樹となっていました。撮影には絶好のお天気で夢中でシャッターを押していると、ガジュマルの正面にあるお宅のご主人に呼び止められ、敷地内にある小高いビューポイントへと案内していただきました。お話を伺うとなんと息子さんが刈谷市に住んでいるとのこと。愛知県在住の私は親近感がわいてしばらく長話をしてしまいました。先を急ぎ次の集落に入ると、色とりどりに鮮やかに咲く花畑の先に一面のひまわり畑！思わず目を奪われ、慌てて車を路肩に止め、パチリ！パチリ！12月なのに満開のひまわり畑には、ほんとびっくりしました。

車を進めると次に「ぽんたん館 営業中！」の看板が視界に飛び込んできました。店内に入ると名産の「ぽんたん・たんかん」の販売店と島の名産品・そして工芸作家さんの作品がたくさん集められたアンテナショップでした。おかげで探し求めていたお土産も買うことができ、リュックの重さと同じように、嬉しさいっぱいとなりました。この近くに「トロウキの滝（海に直接流れ落ちる滝）」があることを思い出し、お店のおねえさんに尋ねると、車はそのまま歩いて行く場所でした。さっそく立ち寄ると、木々のわずかな間から覗くような場所に、足形の立ち位置が描かれ、そこから覗きこみながら写真を撮りました。



安房まで残り1／4周、レンタカー返却時間まであと1時間となり、焦りながらも安全運転で車を走らせました。なんとか時間に間に合いほっとしました。終わってみれば3日間の走行距離は213.5km、島を2周ほどした距離数になっていました。ぐるっと一周、世界自然遺産「屋久島」をめぐり、多様な大自然を体感することができました。



帰路につき、鹿児島港へ向かう高速船の中でたくさんの出会いを思い起こしていました。ヤクスギ、ガジュマル、トビウオ、折れサバ、ヤクシカにヤクシマザル・・・みんな「また屋久島に帰ってくるからね」



NATURE DESIGN

岡崎製材株式会社

総務 杉浦 久枝